

Wiki テキスト内で HTML を使用する

`#!html` [Wiki プロセッサ](#) の機能によって、Trac では Wiki コンテキスト内での HTML 利用が可能です。

しかし、HTML は well-formed でなければいけないという制約があります。とりわけ、1 目目の `#!html` ブロックに開始タグを挿入し、その後普通の wiki テキストを続けて、2 目目の `#!html` ブロックに 1 目目のブロックに挿入した開始タグに対応する終了タグを挿入することはできません。

幸いなことに、`<div>` や `<span>` やもっと複雑なスタイルを使用して 任意の Wiki テキストを含んだ表を作成する場合は、強力な代替手段があります：表専用の `#!div`, `#!span`, `#!table`, `#!tr`, `#!td`, `#!th` ブロックを使用することです。

これらの Wiki プロセッサはビルトインされているので、追加で他のパッケージをインストールする必要はありません。

`#!html` の使い方

テキストブロックが HTML として取り扱われるよう、Wiki エンジンに `html` プロセッサを使用するという情報を与えます。

Wiki マークアップ	表示
<pre>{{ #!html <h1 style="text-align: right; color: blue">HTML ■■■</h1> }}</pre>	HTML テスト

Trac が HTML コードを表示する前にサニタイズすることに注意して下さい。つまり Javascript のイベントハンドラのような潜在的に危険なコードを使おうとしても、出力から削除されるということです。

0.11 以降では、フィルタリングは Genshi が行いますので、出力は well-formed な HTML の断片でなければなりません。上記イントロダクションで記述したとおり、`<div>` を開く HTML ブロックと閉じる HTML ブロックの 2 つを使って Wiki テキストを囲むことができなくなります。`<div>` タグ内部に含まれている Wiki テキストをラップする新しい方法として、`#!div` Wiki プロセッサを使用する方法があります。

`#!div` and `#!span` ブロックの使い方

Wiki マークアップ	表示
-------------	----

[illegible]

Note: `#!div` ブロックの内容に 1

つもしくは複数の段落が含まれる場合、上下にマージンが追加されます。これは、上記の例にある通り、上下のパディングをもたらします。コンテンツの上下のマ

ブロックの class 属性に compact を追加して下さい。 wikipage と compact の他に予め定義された値は、 important

です。これを指定すると段落を目立たせることができます。例えば、その他の CSS のクラスは、`site/style.css`

ファイル経由で定義することができます。 [サイトの外観](#) を参照して下さい。

span については、むしろマクロ呼び出しのシンタックスを使用すべきです:

Wiki マークアップ
Hello [[span(''WORLD'' (click [#anchor here]), style=color: green; font-size: 120%, id=anchor))]]!
表示
Hello WORLD (click here)!

#!td とその他の表関連のプロセッサの使い方

実際に、それぞれのテーブル行やヘッダのセルを作成するためには、`#!td` や `#!th` がメインのプロセッサになります。その他、`#!table` や `#!tr` プロセッサは`#!td` や `#!th`

プロセッサがこれらのプロセッサの役割を自動的に行ってしまうため、テーブル構造を紹介するためには必要ではありません。行セパレータ `|` を新しい行を始める際に必要に応じて使うことができます。しかし場合によっては、`#!tr` ブロックを使用の方が好ましいかもしれません。`#!tr` ブロックの方がより正式なグルーピングを提供することができ、より多くのインデントレベルを提供できる可能性があります。`#!table` や `#!tr` プロセッサを使用する主な目的は、`style` や `valign` などで HTML の属性を指定できることです。

Wiki マークアップ	表示
-------------	----

```

##### 2x2 #####:
{{{#!th align=left
- ■
- ■■■
}}}
{{{#!th align=left
- ■
- ■■■
}}}
|-----
{{{#!td style="background: #ffd"
- ■
- ■■
}}}
{{{#!td style="vertical-align: top"
■■■
}}}
|-----
|| ... #####||\
||##### ||
{{{#!td colspan=2
#####
#####

#####

[WikiFormatting#Tables WikiFormatting] #####
}}}

#####
#####...

{{{
#!table style="border:none;text-align:center;margin:auto"
  {{{#!tr =====
    {{{#!th style="border: none"
    ■ ■■
    }}}
    {{{#!th style="border: none"
    ■ ■■
    }}}
  }}}
  {{{#!tr === style="border: 1px dotted grey"
    {{{#!td style="border: none"
    1.1
    }}}
    {{{#!td style="border: none"
    1.2
    }}}
  }}}
  {{{#!tr =====
    {{{#!td style="border: none"
    2.1
    }}}
    {{{#!td
    2.2
    }}}
  }}}
}}}
```

リッチコンテンツを含んだ 2x2 の簡単な表:

・ 左 ・ ヘッダ	・ 右 ・ ヘッダ
・ 左 ・ 内容	右内容

... パイプでつなげたセルもくっつけることができます

あなたのコンテンツにより適切なスタイルを選択して下さい。

パイプで表の列をつなげるシンタックスについては、[WikiFormatting](#)を参照して下さい。

もし、表そのものに属性を追加する 必要がある場合...

左 ヘッダ	右 ヘッダ
1.1	1.2
2.1	2.2

Note: デフォルトの表設定では、"wiki" の CSS クラスが適用されます。そして、この CSS クラスはヘッダのセルに対して典型的な見た目と表とセルのデフォルトの罫線設定を提供します (このページの表にあるとおりです) このクラスを削除することによって (#!table class="")

表の表示方法を自由に設定することができるようになります。特に、表、行、セルのいずれにも罫線を設定しない場合、いたるところで `style="border: no"` を指定するよりこの方法を使用したほうが、同じ効果を得るのにより効果的な方法となります。

Wiki マークアップ	表示		
<pre> {{{#!table class="" 0 1 2 10 20 30 11 22 33 = ■■ = }}} </pre>	0	1	2
	10	20	30
	11	22	33
	数字		

他のクラスを代替手段として指定することもできます ([site/style.css](#) であなた自身のスタイルシートを定義できることを忘れないで下さい)

Wiki マークアップ	表示		
<pre>{{#!table class="listing" 0 1 2 10 20 30 11 22 33 = ■■ = }}}</pre>	0	1	2
	10	20	30
	11	22	33
	数字		

HTML コメント

HTML コメントは `html` プロセッサの出力から除外されます。HTML コメントを `wiki` ページに追加するために、`htmlcomment` プロセッサを使用して下さい (0.12 以降)。例えば、下記のようなコードブロックになります:

[illegible]

Note: "--" という文字の並びは、HTML コメントでは使用できません。レンダリング時にエラーが発生します。

より詳しい情報

- <http://www.w3.org/> -- World Wide Web Consortium
- <http://www.w3.org/MarkUp/> -- HTML Markup Home Page

See also: [WikiProcessors](#), [WikiFormatting](#), [WikiRestructuredText](#)